

## 登場人物とストーリー

### きょうげん ぶ す ・狂言 「附子」

しゅう たろうかじゃ じろうかじゃ  
主、太郎冠者、次郎冠者

で ようじ でき しゅう しゅじん しようにん たろうかじゃ

出かける用事が出来た主（主人）は、使用人である太郎冠者と

じろうかじゃ おけ はい ぶす もうどく ちかづ  
次郎冠者に、桶に入った附子（猛毒）に近付かないようにと、きつく

い のこ で い ふたり ぎゃく ぶす き  
言い残して出かけて行ったのですが、二人は逆に附子が気になって

おけ ふた あ ふたり  
しまいます。とうとう桶の蓋を開けてしまった二人は…

い まも ふたり こうどう い わけ たの きょうげん

言いつけを守れなかった二人の行動と、その言い訳が楽しい狂言  
です。

### のう つちぐも ・能 「土蜘蛛」

みなもとらいこう こちょう そう こうはん つちぐも せい  
源頼光、胡蝶、僧（後半は土蜘蛛の精）

ひとりむしゃ げにん ひとりむしゃ むしゃ じゅうしゃ

独武者の下人、独武者、武者の従者

みなもとらいこう びょうき ふ い こちょう くすり も

源頼光が病気で伏して居るため、胡蝶が薬を持ってきたので

なに とくべつ ちからはたら ぶあい よ  
すが、何か特別な力が働いているようで、具合は良くなりません。

よる そう あらわ じぶん のろい か い  
その夜、僧が現れると自分が呪いを掛けているのだと言って、

らうこう おそ ぎゃく き にげ ゆ  
頼光に襲いかかるのですが、逆に切りつけられて逃げて行きます。

らいこう めい ひとりむしゃたち つちぐも せい す かづらぎやま

頼光に命じられて、独武者達は土蜘蛛の精が住む、葛城山へ

つちぐもたいじ むか  
土蜘蛛退治に向かいます。

## 令和5年度 学校巡回公演事業

こうえきざいだんほうじん うめわかけんのうかい

〈公益財団法人 梅若研能会〉

まな のう  
〈たいけんから学ぶはじめての能〉

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう  
『学校巡回公演事業』

しょうがっこう ちゅうがっこう ぶんかげいじゅつだんたい じつえんげいじゅつ じゅんかい  
小学校・中学校において文化芸術団体による 実演芸術の巡回  
こうえん おこな こどもたち しつ たか ぶんかげいじゅつ かんしょう たいけん きかい  
公演を行い、子供達が質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会  
かくほ こども ゆた そうぞうりょく そうぞうりょく  
を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、  
しこうりょく のうりょく やし しょうらい げいじゅつか  
思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や  
かんきやくそう いくせい すぐ ぶんかげいじゅつ そうぞう し もくてき  
観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的  
としています。

こども じつえんしどう かんしょうしどう  
ワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を  
おこな じつえん こども さんか くふう  
行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を  
おこな  
行います。



文化庁

舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

## 公演プログラム

### きょうげん ぶ す ・ 狂言 「附子」

- きょうげん かいわ うご ひょうげん きげき  
◎ 狂言は会話と動きで表現する喜劇です。  
ぶたいじょう えんじゃ うご ことば かんさつ  
舞台上の演者の動きや言葉をよく観察して、  
ばめん そうぞう たの かんしょう くだ  
場面を想像しながら、楽しく鑑賞して下さい。

### きょうげんたいけん ・ 狂言体験 たいこたいけん ・ 太鼓体験

- たいけん だいひょう みな いっしょ うご まね  
◎ 体験では代表の皆さんと一緒に動きを真似たり、  
おお こえ だ さんか くだ  
大きな声を出して参加して下さい。

### のう つちぐも ・ 能 「土蜘蛛」

- つちぐも みな だいひょうしゃ のう いしゅう き  
◎ 「土蜘蛛」には皆さんの代表者が、能の衣装を着て  
しゅつえん  
出演します。  
ふだん せいかつ ちが どくとく うご ちゅうもく  
普段の生活と違う、独特な動きなどに注目しながら、  
ちらかづよい おんがく はな いしゅう たの くだ  
力強い音楽や、華やかな衣装も楽しんで下さい。

## 謡ってみよう

なんじ し われ  
汝 知らずや 我 むかしー  
かづらきやま とし へ  
葛城山に 年を経しー  
つちぐも せいこん  
土蜘蛛の 精魂 なーりー。

- のう つちぐも こうはん つくもの ぶたいじょう だ おおどうぐ  
◎ 能「土蜘蛛」の後半。作り物（舞台上に出される大道具）  
なか つちぐも せい すがた み あと たいこ えんそう いっしょ  
の中の土蜘蛛の精の姿が見えた後、太鼓の演奏と一緒に  
うた ぶたい えんぎ も あ くだ  
謡って、舞台の演技を盛り上げて下さい。

